

◆ ガラスクリーニング手順書 ◆

準備するもの

- ① スクイジー……ガラスの水を切る道具(片面にゴムが付いている)
- ② ウォッシャー……ガラス面を濡らして砂などの汚れを取る道具。
無ければ、タオルで大丈夫です。
- ③ ポリバケツ(8ℓバケツ)
- ④ ガラス洗剤(食器用洗剤で可)
- ⑤ タオル5枚ほど
- ⑥ ブラシ類……サッシ掃除用。
先が尖っている目地ブラシが使いやすいでしょう。
- ⑦ 割り箸……サッシ掃除用
- ⑧ 掃除機・掃除機用すきまノズル
- ⑨ ビニール手袋(薄手)
- ⑩ 養生用のビニールシート……内側の作業をする際、カビ除去をする
際、床面を保護します



↑スクイジー



↑ウォッシャー



↑ 目地ブラシ

お掃除手順

- ① サッシのレールの汚れを、乾いたブラシでこすり、掃除機で吸い取ります。

※ 「乾いた汚れは乾いているうちに取る」これが原則です！

この作業の良し悪しで仕上がり
のスピード、きれいさが違ってき
ます。



- ② カビがある場合は、カビ除去剤を
かけてしばらくおいてから、
除去できたことを確認の上、タ
オルでしっかり拭き取ってから
次の作業にかかります。

※ カビ除去剤を使用する際は、畳やフローリングの材質を犯さないよう、養生シートを敷いて作業をしましょう。

残念ながら、コーキング材に染み込んでしまったカビは、薄くすることはできても、完全に取りきることはできません。

- ③ ガラス、サッシをきれいにします。

1. ポリバケツに洗剤を作ります。

ポリバケツ7分目位の水に、食器用洗剤をぐるっと一周入れます（ガラス用洗剤は要りません）

2. ウォッシャーに洗剤を含ませ、ガラスを洗います。ウォッシャーがない場合は、緩めに絞ったタオルを八ツ折り程度にたたみ、手のひらに乗せるようにしてガラス面をこすり汚れを落とします。汚れが取れてくると、最初は重い感じだったのが軽くなってくると思います。



3. スクイジーを、ガラスの最上部の角に当て、そのまま横に引いて水を切ります。その時、スクイジーのゴムが曲がらない程度に強く押さえて、45℃くらいの角度を維持しながら右にひきます。そのような要領で、ガラスの上部から下部へ、順に水を切っていきます。



※ スクイジーの使い方は、上記のように横に引く方法と、縦に（上から下へ）引く方法とありますが、横に引くほうが、汚れのスジが残りにくくきれいに仕上がります。

※ スクイジーは、一回切るごとにゴムを拭きます。

ゴムに汚れが残っていると、次に引く時に、その汚れが邪魔をしてスジが残ります。

4. ガラスの隅に残った水を、乾いたタオルで拭き取ります。

5. 窓ガラス1枚拭き終えたら、かたく絞ったタオルで、上から下へ窓枠を拭きます。

④ 最後に、レールをきれいにします。

水が滴るほどの緩めに絞ったタオルを、箸で抑えるようにして、レールに差し込みます。そして、そのままレールに沿って引くときれいになります。角をきれいにする場合は、そのタオルを角に当て、箸で突付くようにして汚れをタオルに移らせます。



◎ご参考に・・・

以前は、ガラスに水をかけて、表面の汚れを流すだけの洗浄をしている方を見かけました。このような作業ですと、汚れの落ち切っていないガラス面に水滴が残り、そのことで水のカルシウム成分が残り、ガラスがウロコ状（鱗状痕）になってしまいます。また、ガラスのそばに植木などがある場合に、水やりによって、そのような状態になってしまっているのを見かけることがあります。鱗状痕が一度ついてしまうと、これを除去することは、容易ではありません。このようにならないためには、ウォッシャー、スポンジ、タオルなどを使い、汚れを落としてから、水を切っておけば、きれいな状態がいつまでも続き、鱗状痕にはなりません。

また、春は穏やかで、気持ちの良い時期ですが、強風や黄砂がとても厄介ですよね。黄砂が、ガラス面に付着した場合、スクイジーのゴムとガラス面の間に砂がかんできれいになりにくくなります。いろいろな方法がありますが、ひとつの方法として、ガラス面を洗った後、先に隅だけを指一本でふちの砂をぬぐい落としてから、スクイジーで切ると、スクイジーとガラスに間に砂がかまらず、きれいに仕上がります。また、少し面倒ではありますが、ガラスを洗ってスクイジーで切るという作業を2回繰り返すと、確実にきれいに仕上がります。

ガラスクリーニングをする際、タオルだけを使って作業するよりも、やはり、スクイジーを使う方法が、一番早くきれいに仕上ると思います。今では、ホームセンターで、安価なものも簡単に手に入りやすくなりました。スクイジーは、ガラスクリーニングだけではなく、お風呂の壁の水切りにも大変重宝しますので、1つあると、非常に便利です。